

- ② 雨水貯留管の整備が完了
- ③ 手術支援ロボットを導入
- ④-⑤ **特集 厚木の産業**
まちを支える企業の手
- ⑥-⑧ 街の話題/コラム/お知らせ



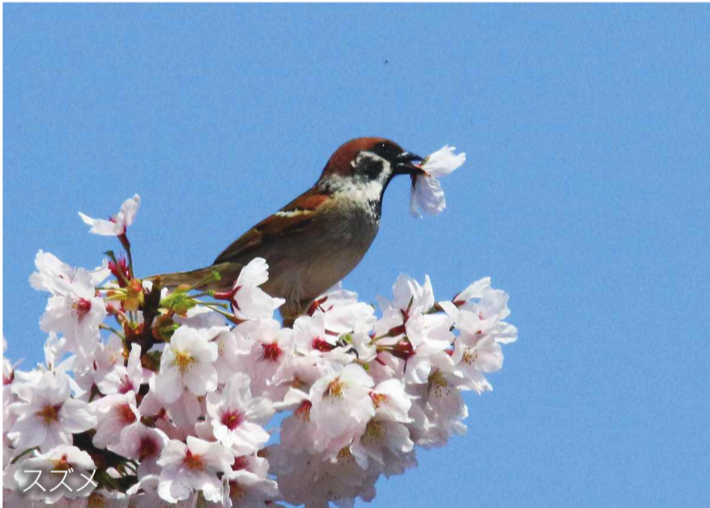
カワセミ



二ホンリス



ヤマメ



スズメ



吉田文雄さん



アオゲラ

自然歳時記
連載30周年

慈しみのまなざし 注ぎ続けて



オオジャコケ



ハナグモ



アサギマダラ



キンラン



キレンジャク



ハナネコノメ

プロフィール 1943年生まれ。飯山南在住。93年に広報あつぎで連載を開始。市立小・中学校の教諭・校長を務める。現在、県立愛川ふれあいの村学芸員。1級ビオトープ計画・施工管理士。



吉田さん
お薦めの
観察スポット

- ① あつぎこどもの森公園
- ② 自然環境保全センター
- ③ 飯山白山森林公園
- ④ 七沢森林公園
- 川沿いにある健康交流のみち

愛TV 5/1~

「ほら、小さな花が咲いているよ。きれいだねえ」「コケの中には、マツタケみたいな香りがするものもあるんだよ」。自然の中を歩く吉田文雄さんは、いつもとてもうれしそう。ひっそりと咲く野花や、小さな生き物たちの営みに目を凝らし、五感で命の不思議を楽しんでいます。

広報あつぎで30年にわたり連載する「自然歳時記」。吉田さんの視点や心の動きが、写真と文章を通じて多くの皆さんに届けられています。「生き物それぞれに美しく輝いている瞬間がある。学ぶことがたくさんあるね」。吉田さんはこれからも、厚木の自然を見つめます。

連載30周年記念 写真展

日時 4月29日～ 9～22時(映画館の開館時間)
場所 アミューあつぎ
内容 吉田さんが撮影した市内の動植物の写真や、過去の自然歳時記の記事などを展示

☎広報課 ☎225-2040

Zoom Up

中心市街地の浸水被害を軽減

雨水貯留管の整備が完了

台風や集中豪雨などによる本厚木駅周辺の浸水被害を軽減するために進めてきた、厚木中央公園を起点とした雨水貯留管が3月に完成しました。今後は厚木郵便局前交差点付近の浸水対策も実施し、安心して暮らせる水害に強いまちづくりを進めていきます。

近年、全国各地で台風や集中豪雨が多く発生しています。市内では、2013年の局地的集中豪雨で1時間に65mmの降雨量を観測。本厚木駅周辺では深さ50cm程度の浸水が発生し、多くの被害が出ました。市は、市街地の浸水被害を軽減するため、19年にあさひ公園の地下に小学校のプール40杯分の雨水がためられる貯留施設を整備。さらに、19年12月から雨水貯留管の整備工事を始め、今年3月に完成しました。

プール約14杯分の貯留が可能に

完成した貯留管は、地下約8mの位置に埋設。延長は、厚木中央公園西側から保健福祉センター付近までの約1.1kmに及びます（左図参照）。大雨の際、下水管の水位が高くなると、一度貯留管に雨水を取り込み、後日、ポンプで下水管に戻して処理する仕組みです。小学校のプール約14杯分の雨水がためられ、13年に被害が起きた降雨量でも浸水の深さを約10cm以下に抑えられる見込みです。



完成した雨水貯留管の内部



約70cmのシールドマシンで掘削

マシンを地下に搬入



完成している雨水貯留施設の位置図

「あつてほしい」と期待を込めます。

水害に強いまちづくり

市では現在、浸水による通行止めが13年以降に3度発生している厚木郵便局前交差点西側付近の対策工事を進めています。ポンプを利用して雨水を近くの恩曾川に排水できる雨水管を整備し、25年2月に完成予定です。

本厚木駅周辺に住む山田葵さん(45・旭町)は「全国で集中豪雨などによる被害が多く、災害の不安を感じている。貯留施設の整備などの災害対策は心強く、今後も安心して暮らせるまちで

他にも、企業・管理組合などの浸水対策工事や、住宅などの止水板設置の費用を補助（下欄参照）。水害から身を守るよう、市が実施する貯留施設の整備と併せ対策を強化しています。これからの皆さんが安心して暮らせる災害に強いまちづくりを目指します。

☎下水道施設課 25-2370

浸水被害を防ぐために

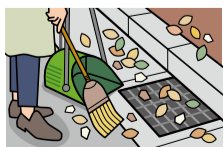
河川の氾濫や降雨による浸水被害を防ぐため、対策などの費用の一部を補助します。

- 企業などの対策費用 ☎危機管理課 225-2190
 - 《対象》店舗、事務所、工場、集合住宅（マンション）、テナントビルなど
 - 《補助額》対象経費の3分の1（上限3000万円）
 - 《補助条件》災害時に避難施設として提供する協定の締結
 - ☑市HPにある申請書を直接、危機管理課へ。審査あり。
- 止水板の設置費用 ☎下水道総務課 225-2362
 - 《対象》住宅、集合住宅（マンション）、店舗、事務所などへの設置・購入費用
 - 《補助額》対象経費の2分の1（上限50万円）
 - ☑工事などの着手前に申請書と必要書類を下水道総務課へ。審査あり。条件などの詳細は市HPに掲載。

自宅でできる備え

被害を減らすには日頃の備えが大切です。

- 事前に行動などを確認
 - オールハザードマップで災害リスクを認識し、家族との連絡方法や集合場所、避難経路などを事前に確認。
- 自宅や周辺の点検
 - 雨どいや側溝の詰まりがないか確認し、清掃。



いつでもどこでも簡単納付

市税などを支払える電子マネーが増えました

納付書のバーコードをスマートフォンで読み取り、市税などが支払えるサービスです。4月から新たに「FamiPay」「楽天ペイ」を追加しました。 ☎収納課 225-2020

■利用できる電子マネー

LINE Pay、Pay Pay、au PAY、d払い、J-Coin、FamiPay、楽天ペイ、PayB（ゆうちょPayを含む）の請求書払い

■支払える税金など

市・県民税（普通徴収）、固定資産税・都市計画税（土地・家屋）、固定資産税（償却資産）、軽自動車税（種別割）、国民健康保険料、介護保険料、後期高齢者医療保険料、学校給食費

《使用不可》①30万円以上の支払い（FamiPayは支払い上限10万円）
②市役所や金融機関、コンビニエンスストアなどの窓口支払い

■支払い方法

①アプリのインストール ②残高に電子マネーをチャージ ③請求書のバーコードを読み取り ④金額を確認 ⑤支払い完了

詳しくは市HPに掲載





操作台(手前)の取り扱い方法やアームの仕組みなどを確認する医師たち

Zoom Up

高度ながん治療を目指して 手術支援ロボットを導入

がん患者への負担が少なく手術できるロボット「ダビンチXi」を市立病院に導入しました。8月の使用開始に向け、手術を希望する方の受診を開始。より高度で安全な医療を提供できるよう、準備を進めています。

生涯でがんに罹患する方は、2人に1人といわれ、患者への治療は重要性を増しています。市立病院では、がん診療をさらに進めるため、3月に高度な手術ができる手術支援ロボットを導入しました。

より高度な医療を提供

ロボットを使う主な手術は、前立腺・腎・ぼうこうがんなどの泌尿器科と結腸がんなどの外科の治療です。機器は、本体・操作台・助手用モニターで構成され、医師は3Dモニターを見ながら遠隔で操作します。アームの先端にある器具は、医師の手指の動きと連動。従来の腹腔鏡手術に比べ、より繊細な動きができるため、傷口が小さくなり、患者への負担が少なく済みます。

病院では8月の使用開始に向け、医師らがトレーニングを開始。ロボットを使った手術希望者の受診も始まっています(下欄参照)。

充実した医療体制を

市立病院は、がん患者や家族へのサ

患者の体に負担の少ない手術を



市立病院 泌尿器科 診療科部長 畠 憲一 医師

手術支援ロボットのメリットは、傷口が小さく出血が少ない、手術時間が短く済むなど、患者への負担が減り術後の回復が早くなることです。時間が短くなるとスタッフの負担も軽減され、多くの手術ができるようになります。

費用は、開腹手術や腹腔鏡手術と比べると少し高額になりますが、保険適用であれば自己負担額は同程度となる場合もあります。

手術支援ロボットを使った手術を受けるには

■対象

前立腺・腎・ぼうこう・腎盂・尿管がんなどと診断され、手術療法を進めている方

■受診方法

地域の医療機関を受診し、紹介状を持って市立病院へ

市立病院のがん治療の詳細はこちら



☎患者支援センター ☎221-1570

ポートを強化するため、2020年にプロジェクトチームを設立しました。治療の初期から患者や家族の心に寄り添えるよう、医師・看護師・薬剤師などによる緩和ケアチームを創設。治療費、食事・栄養面などを相談できる「がん相談支援センター」も新設し、22年には県から「がん診療連携指定病院」に指定されました。

今後も治療だけでなく、精神面をサポートする相談体制や緩和ケアも推進し、一人一人の心に寄り添う医療を提供できるよう取り組みを進めています。

☎病院総務課 ☎221-1570

新型コロナワクチン接種のお知らせ

☎市新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター ☎0570-054-666

※情報は4月18日時点

■接種対象 (令和5年春開始接種)

初回接種(1・2回目)を終え、最終接種日から3カ月経過した①65歳以上②基礎疾患があるまたは重症化リスクが高いと医師が認める5~64歳③医療従事者、高齢者・障害者施設の従事者のいずれかに該当する方②③は接種券の申請が必要(昨年度申請した方は不要)

■接種場所

《個別》市内約60医療機関
《集団》保健福祉センター



基礎疾患・医療従事者などの接種券申請

■接種期間 (1回接種)

《個別》5月8日~8月31日
《集団》5月10日~6月30日(週3~4日実施)

■ワクチンの種類

《個別》ファイザーBA.4-5
《集団》モデルナBA.4-5

■予約方法

接種券に同封するチラシに記載



個別接種実施医療機関



予約サイト

看護・介護職に助成

三つの助成で 人材確保

看護・介護職を目指す方や復職する方に助成金を交付しています。

◆転入奨励助成金

市内への転入費用を助成します。
《対象》市内在住で①市内医療機関や介護・障がい福祉サービス事業所に就職または勤務する看護師・歯科衛生士・介護福祉士・社会福祉士など②市外から市内に転入一の全てを満たす方
《助成》最大20万円

◆奨学金返済助成金

奨学金の返済金額を助成します。
《対象》市内在住で①採用後3年未満の市内医療機関や介護・障がい福祉サービス事業所に勤務する看護師・歯科衛生士・介護福祉士・社会福祉士など②奨学金を利用して資格を取得し返済中一の全てを満たす方
《助成》年上限20万円(最長3年間)

◆復職等奨励助成金

市内の病院などに復職する方に就業奨励金を交付します。
《対象》市内在住で、市内医療機関や介護・障がい福祉サービス事業所に復職する看護師・歯科衛生士・介護福祉士・社会福祉士など
《助成》最大20万円

【医療機関】

☎健康長寿推進課 ☎225-2174



詳細はこちら

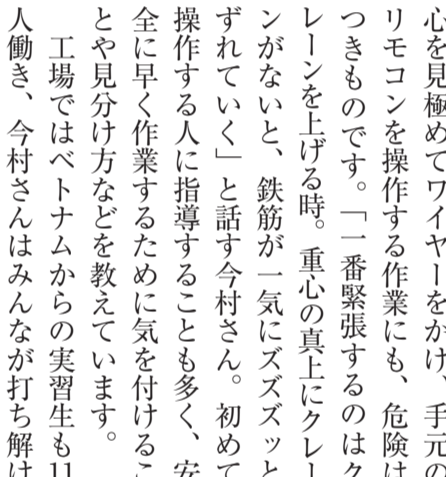
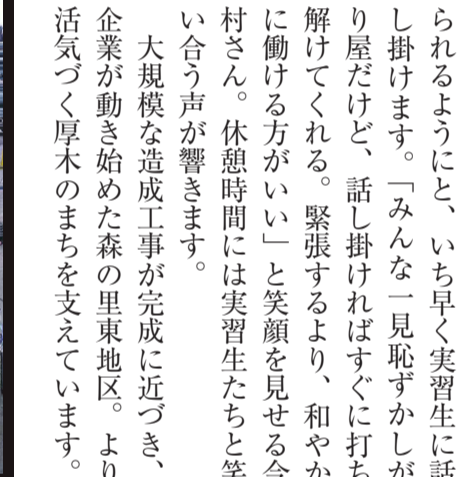
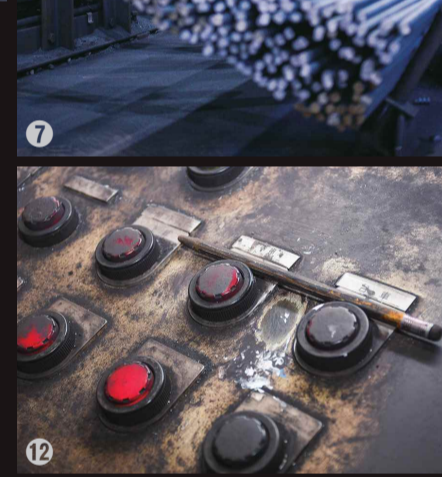
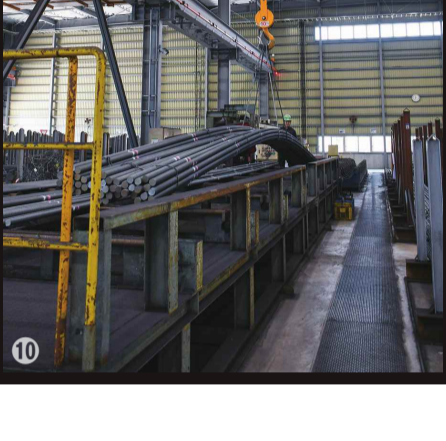
【介護・障がい福祉サービス事業所】

☎介護福祉課 ☎225-2240
☎障がい福祉課 ☎225-2225



詳細はこちら





1 森の里東に建設した約5千平方メートルの工場 2 鉄筋を切断する今村さん 3 同僚や実習生と昼食をとる今村さん(中央) 4 手入れされた工具 5 鉄筋の曲げ加工 6 1メートル単位で鉄筋を切断する精密切断機 7 加工長と打ち合わせをする森工場長(左) 8 10メートルまで吊り上げられるクレーン 9 3メートルの鉄筋を台に乗せる今村さん 10 完成した鉄筋の製品。さまざまな型がある

工場では1日に約200トンの鉄筋を扱っています。移転を考える上では、作業を効率よく安全に進められるのが

移転先に選んだ厚木
山際も「以前より安全に作業でき、効率も上がった。自分たちの意見も取り入れてもらえて働きやすい造りに

なった」と話します。今村さんが担当している業務は、100本を超える鉄筋の切断。量が多いため、正確に加工

正確で安全な作業を
決まった作業でも、常に緊張感があります。「長く働いていると、機械で

金田は昨年、拠点の統合に伴い、20数人の社員が兵庫県から厚木に異動して

今、川端さんが取り組んでいるのは新製品の開発。従来の改良などとは

工場では、マシンなどの住宅に使われる吹き付け断熱材の他、自動販売機や冷凍庫、工場などの断熱材にも

新製品の完成を目指して
「これを入れたらこうなるかも、とイメージして、ならなかったら原因を

工場では、マシンなどの住宅に使われる吹き付け断熱材の他、自動販売機や冷凍庫、工場などの断熱材にも

工場では、マシンなどの住宅に使われる吹き付け断熱材の他、自動販売機や冷凍庫、工場などの断熱材にも

工場では、マシンなどの住宅に使われる吹き付け断熱材の他、自動販売機や冷凍庫、工場などの断熱材にも

工場では、マシンなどの住宅に使われる吹き付け断熱材の他、自動販売機や冷凍庫、工場などの断熱材にも

工場では、マシンなどの住宅に使われる吹き付け断熱材の他、自動販売機や冷凍庫、工場などの断熱材にも

特集 厚木の産業

まちを支える企業の力

市内には5000を超える企業があり、活発な企業活動はまちづくりの土台を支えています。さらなるまちの発展のため市では企業誘致に力を入れています。特集では、市の企業誘致制度を使って工場を新設したり市内に移ってきたりした企業を紹介します。

2005年以降に誘致した企業数と件数
(企業誘致条例の適用企業)

新設	26件	増設	53件	移設	15件
合計	71社94件				
総投下資本額(立地企業が市に投資した額)	1677億円				

◎産業振興課 ☎251-2832

企業への支援

企業の設備投資や研究開発、雇用などに補助金を交付しています。



要件や他の支援など詳細は市HPへ

◆中小企業カーボンニュートラル推進事業補助金

電気自動車の購入や専用の充電器など、省エネルギー機器の設置費用の一部を補助。



◆中小企業設備投資促進事業補助金

生産の拡大のため、機械や装置などの設備を導入する費用の一部を、200万円を上限に補助。

◆IT・IoT導入補助金

ロボットやIT(情報技術)、IoT(ネット接続できる製品)、AI(人工知能)などの先端技術を導入する費用の一部を補助。

立地への支援

《2021年に支援拡大》

工場や研究所を新・増設する企業に、税負担の軽減や奨励金を交付し、企業の進出や事業の拡大を支援しています。21年から、対象区域の拡大や業種の追加など支援策を拡大しました。



発注を確認する川端さん(左)と西島さん



市産業振興推進委員・NPOあつぎみらい21理事長
中小企業診断士
小泉 誠二さん

企業誘致がまちの力に

厚木には企業が多く立地し、業種の偏りが少ないことが特徴です。近年は、森の里東や酒井などの土地画整理にも力を入れています。製造業などを受け入れられる広い場所を用意できれば、たくさんの雇用を生む大きな企業を誘致できます。企業が増えると雇用が生まれ、住む人が増え、商業施設も増えていくので、企業立地はまちが活気づく起点になります。

厚木はまだまだ発展の余地のあるまちです。企業を呼ぶためには子育て環境を整えたり交通利便性を向上させたりと、住みよいまちをつくることも大切です。まちづくりの政策と企業誘致は密接につながっているのです。

新製品の完成を目指して

工場では、マシンなどの住宅に使われる吹き付け断熱材の他、自動販売機や冷凍庫、工場などの断熱材にも使われる硬質ウレタンの原液などを製造しています。川端さんが担当しているのは原料の配合などの研究。実験室で原料の種類や分量を考えて混ぜ、発泡させたものを測定器にかけて性質を細かく調べます。断熱効果やつぶれにくさ、含まれる空気量の量などの数値を記録し、分析し、より良い製品にするために試行錯誤を繰り返します。

工場では、マシンなどの住宅に使われる吹き付け断熱材の他、自動販売機や冷凍庫、工場などの断熱材にも使われる硬質ウレタンの原液などを製造しています。川端さんが担当しているのは原料の配合などの研究。実験室で原料の種類や分量を考えて混ぜ、発泡させたものを測定器にかけて性質を細かく調べます。断熱効果やつぶれにくさ、含まれる空気量の量などの数値を記録し、分析し、より良い製品にするために試行錯誤を繰り返します。

積水ソフランウイズ株式会社

ウレタン原液製造



原料を混ぜ合わせウレタンの原液を作る工場



ウレタン内部の独立した気泡の割合を調べる測定器



製品の入ったドラム缶

夏の水難事故に備えて

相模川で救命ボートの取り扱い訓練を実施



相模川三川合流点の上流付近で訓練を実施

消防本部は4月、水難事故を想定した救命ボートの取り扱い訓練を相模川で実施しました。隊員24人が、資器材の点検やボートを使った救助訓練に当たりました。

訓練は、川での事故が増える夏の行楽シーズンを前に毎年実施しています。初めに隊員たちは、救助に使う資器材の使い方を確認。救命ボートを組み立てた後、要救助者にロープや浮き輪を渡す訓練などに取り組みました。参加した隊員は「川の流れの速さや水深などの危険箇所を確認できた」「実際の救助に近い訓練ができた」と話しました。市内では昨年、12件の水難事故が発生。水遊びやバーベキューの際の注意を呼び掛けています。

弁財天・養蚕・鷺

あつぎ郷土博物館で依知地域を知る展示始まる

依知地域にスポットを当てた展示会が、6月25日まであつぎ郷土博物館で開催されています。歴史・民俗・自然・考古の分野ごとに貴重な史料が展示され、来場者を楽しませていきます。

この展示は、地域ごとの魅力を再発見してもらおうと博物館が企画。昨年の厚木地域を紹介する展示に続き、2回目となります。会場には、1月に市の有形文化財に指定された妙傳寺の掛け軸をはじめ、養蚕が盛んだったことを示す道具、地域に分布するサギの剥製、遺跡からの出土品など約100点が並んでいます。

槐真史学芸員は「歴史だけでなく生物や民俗など総合博物館ならではの展示になっている。多面的に地域の魅力を感じてほしい」と話します。



初めて見る養蚕の道具に興味津々の子どもたち



操作技術を高めて連携を強化

プロのドローンパイロットと消防本部が合同訓練

水難事故や土砂崩れの現場などでの検索活動にドローンを生かすため、消防本部がプロのパイロットを招いた訓練を実施しました。隊員8人が、包括連携協定を結ぶスカイジョブ合同会社の高梨智樹さんから、操縦や機体の管理方法などの手ほどきを受けました。

訓練は、2020年に協定を結んだ後、年に1回程度実施。この日は、10メートル離れた場所に設置したカラーコーンを目印に「8の字」や長方形に飛行する訓練に取り組みました。終了後は、機体の点検方法やバッテリーの適切な管理の仕方を学びました。高梨さんは「技術が身に付いているのを感じる。今後は河川や山などでの訓練もできたら」と話しました。



高梨さん(左)から手ほどきを受ける隊員たち

安心して暮らせるようサポート

3人目のウクライナ避難民を受け入れ

市では昨年からのロシアによるウクライナへの軍事侵攻の避難民を受け入れていす。3月末に出入国在留管理庁官から依頼があり、3人目となるドゥーマ・ボグダンさん(33)の受け入れが決まりました。

ドゥーマさんは、市内に避難しているニキチェンコ・カテリナさんの親戚。ニキチェンコさんから厚木の様子を聞き、避難して来ました。出迎えた山口貴裕市長は「家族のことなど心配は尽きないと思うが、自然豊かな厚木で少しでも疲れを癒やしてほしい。安心して暮らせるようにサポートしていく」と歓迎しました。

ドゥーマさんは「厚木に来ることを楽しみにしていた。心強い言葉を頂き感謝している」と話しました。



ドゥーマさん(左)を迎えたニキチェンコさん(右)と山口市長

第2回 みんなで目指そう カーボンニュートラル

カーボンニュートラル(CN)とは、地球温暖化の原因である温室効果ガスの排出を減らし、植林や森林管理などによる吸収量を増やすことで、実質ゼロを目指す取り組みです。連載では、今日から挑戦できる取り組みを紹介します。

今月の挑戦 宅配便の受け取りは1回で



レンブラントホテルに設置されているオープン型宅配ロッカー

国内で2021年度の宅配便の取り扱い量は約49.5億個に上り、うち11.8%が再配達になっています。再配達によるCO₂は年間約25万トン発生しています。1回で受け取れるよう、配達時間の設定や、宅配ボックス・バッグ、オープン型宅配ロッカー、コンビニでの受け取り、置き配などを上手に利用しましょう。

CNプラットフォームでは、再配達防止の情報はじめ、CNに関する企業の取り組み、補助金の情報などを発信しています。環境政策課 ☎225-2749



ソウルフードを地域の誇りに。世代を超えて受け継がれてきた食文化として、「厚木のとん漬」が文化庁の「100年フード」に認定されました。

100年フードは、多様な食文化の継承・振興への機運を高めるため2021年度に設けられた制度です。①地域の風土や歴史・風習の中で育まれている②世代を超えて受け継がれ、食されてきた―などを条件に、初年度は131件、22年度は70

の頃から食してきた料理だけに、全国的な食文化としてスポットライトが当たったことをうれしく思います。私は、とん漬の魅力に大きな可能性を感じています。認定を市民の皆さんの誇りへとつなげ、これからの厚木市を盛り上げる起爆剤としていけるよう努めてまいります。



ポスターなどで100年フードをPR

件が認定されています。江戸時代末期の荻野山中藩で、客人への料理が不足した際に生み出されたというとん漬。今や本市が誇るソウルフードの一つです。食ブランド「あつぎOECフード」やかながわの名産100選にも選ばれ、市内では20店舗以上で提供。豚肉にみそを丁寧に塗り重ねた甘過ぎず辛過ぎずの絶妙な味付けが特徴で、マフィンに挟んだ「厚木バーガー」も人気です。子ども

タウンガイド

5月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

6月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

☑=申し込み ☎=問い合わせ ☎=電話番号
 ㊚=ファクス番号 ✉=Eメール HP=ホームページ
 📄=講座予約システム(インターネットで申し込み可)
 愛TV/5/1~ =市広報番組あつぎ愛テレビ
 市役所への郵便物は「〒243-8511〇〇課」で届きます。

あつぎのしゃしん。



「恩曾川のこいのぼり」

#4月9日撮影
 #地蔵橋親水広場
 #こどもの日
 #niceatsugi
 市公式インスタ
 グラムで公開中



4年ぶりの開催

緑のまつり

新緑の季節に最適な、緑あふれる2日間。親子で楽しめる催しも盛りだくさんです。

📍公園緑地課 ☎225-2412

日時 5月13・14日
10~16時

場所 厚木中央公園



詳細はこちら▶



テーマ
 「託された 緑のバトン 繋げよう」
 奥村徳生さん(依知中2年)

主な内容

ステージ(ダンス・楽器演奏など)、ミニフラワーアレンジ(1000円。☑不要)、植木市、草花や野菜の苗の販売、市民朝市、市の花さつき展示会、さつき苗無料配布(13時~。先着100人)、スタンプラリー(ポット苗プレゼント)、SDGs啓発ブースにハローキティ登場(13日)、おはなし隊による絵本の読み聞かせ(14日)



開始式(13日9時15分~)にはアルプホルンの演奏も実施

イベントの運営など《対象》市内5大学(神奈川工科・松蔭・湘北短期・東京工芸・東京農業)の学生。☑電話またはEメールに氏名、学校名、学年を書き、商業にぎわい課 ☎225-2840・✉3800@city.atsugi.kanagawa.jpへ。

電話番号を書き、9月8日までに文化生涯学習課 ☎225-2508・✉0350@city.atsugi.kanagawa.jpへ。

■ボランティアスタッフ
 《内容》ワークショップの補助、受け付け、準備、片付けなど。☑文化生涯学習課 ☎225-2508へ。



5月12日は民生・児童委員の日

民生委員・児童委員は地域の身近な相談役です。高齢者・障がい者・児童に関する相談など、福祉のことでお困りの方は、気軽に相談してください。地域の担当委員は、福祉総務課に問い合わせください。☎福祉総務課 ☎225-2200。

あつぎ青空アート展の出展者・スタッフを募集

10月8~15日に開催する「あつぎ青空アート展・野外彫刻造形展」の出展作品と運営スタッフを募集します。

■出展作品
 《テーマ》自由(グループ作品も可)《費用》無料。☑直接、電話またはEメールに〒住所、氏名、



5月12日は看護の日

近年の少子高齢化社会に対応するため、一人一人が助け合いの心を持って過ごしましょう。☎病院総務課 ☎221-1570。

5月はあつぎ子ども月間

家族の絆を大切にしながら、地域ぐるみで子育てを応援し、子どもたちの成長を支え合いましょう。☎こども育成課 ☎225-2262。

感染予防の徹底を

感染の不安がある方、診療ができる医療機関の案内などは県の専用ダイヤル ☎0570-056-774(24時間対応)へ。



感染予防はこちら

☎健康長寿推進課 ☎225-2174

やっぱり家がいい! 医療・介護・生活支援を考える

6月25日、14時~15時30分。文化会館。医療・介護・生活支援に関するイラストを使った会話形式の講演会。定員300人。無料。☑電話または、ハガキ、ファクスに参加者全員の〒住所、氏名、電話番号を書き、6月16日までに〒243-8511地域包括ケア推進課 ☎225-2047・㊚221-2205へ。先着順。📄



あつぎ子ども食堂フェスタ

5月13日、11~14時。オギノパン厚木店。子ども食堂運営団体による、揚げパン作り体験や大道芸など。☑不要。☎子育て支援センター

☎225-2922。

一日看護体験

8月18日、8時45分~12時。市立病院。病棟での看護ケア体験。市内または近隣市町村在住在学の高校生20人程度。無料。☑5月31日までに市立病院HPから申し込み。抽選。☎病院総務課 ☎221-1570。

応急手当普通救命講習会

①5月19日、9時~②6月8日、13時30分~(各回180分)。消防本部。応急手当の重要性、心肺蘇生法、自動体外式除細動器(AED)の取り扱いなど。市内在住在勤在学の中学生以上15人。無料。☑5月1~8日に救急救命課 ☎223-9365へ。抽選。📄

あつぎにぎわいアドベンチャー隊を募集

中心市街地のにぎわい創出に向けて活動する大学生を募集します。《活動期間》6月上旬~2024年3月31日《内容》SNSでの魅力発信や

スポーツなじみDAY

運動にぴったりの気候の中、スポーツに親しみませんか。

☎スポーツ推進課 ☎225-2531

日時 5月20日 10時~15時30分

場所 荻野運動公園

種目 ※雨天時は屋内種目のみ

屋内=ボッチャ、バウンスポール、ドッジビー、カーレット、ビーチボール、体力チェックコーナーなど
 ※室内履きをお持ちください。

屋外=ターゲット・バードゴルフ、モルックなど



詳細はこちら

インターネットモニターからの意見を紹介



インターネットモニター募集
 厚木市 インターネットモニター 検索

☎広報課 ☎225-2043

4月1日号「広報あつぎ」を読んで

◆30年前の長男の出産を思い出し胸が熱くなった。2年前の初孫誕生も思い出し命の大切さを改めて感じた/50代女性 ◆命に関わる現場で働く人に感謝したい/30代女性 ◆小学生の作文に泣けるほど感動した。こんなに命を大切に考えている小学生がいることを大変うれしく思う/60代男性 ◆太陽光発電に興味はあるものの導入・維持の費用が壁になっている/50代男性 ◆自然歳時記を楽しみにしている/70代以上女性

編集後記

吉田さんの優しいまなざしは私たちにも向けられていて、お会いするといつも気持ちが穏やかになります。自然歳時記のファンが多いのは、写真と文章を通じて読者の方も吉田さんに会えたような気持ちになれるからだと思います。顔を合わせると必ず「いつもありがとう」と声を掛けてくれる吉田さん。こちらこそいつもありがとうございます。お体に気を付けて、自然の魅力と安らぎを届け続けてください/橋本

ものづくりの楽しさを体験

少年少女フェスティバル

5月はあつぎ子ども月間です。楽しいおもちゃ作りで親子の絆を深めませんか。
 問 青少年課 ☎225-2580

日時 5月14日 11～15時

場所 アミューあつぎ

内容 風車や割り箸鉄砲などのおもちゃ作り、
花笠踊り、手品、折り紙など

費用 無料 申 不要



詳細はこちら



青少年指導員
久保 勝寿さん
(63・愛甲)

子どもが笑顔で 夢中になれるイベントを

青少年指導員が中心となり、子どもたちはもちろん、一緒に来た方全員が笑顔になれるコーナーを用意しています。押し花で作るシオリやプロペラを飛ばすおもちゃなど、家族で楽しめるので、ぜひ遊びに来てください。

楽しく正しく防災を学ぶ

あつぎ消防フェア

日時 5月21日 10～15時

(雨天時は28日に順延)

場所 ぼうさいの丘公園

内容 消防車乗車体験、スタンプラリー、
記念撮影など

費用 無料 申 不要



詳細はこちら



はしご車や救急車などの消防車両が会場に集結します。体験しながら防災を学びませんか。

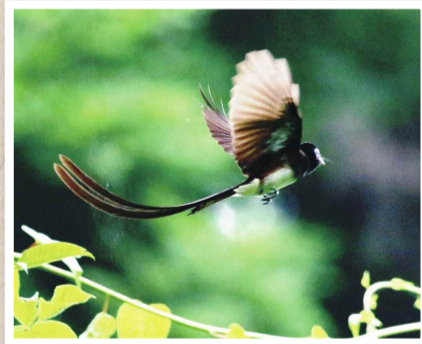
問 管理課 ☎221-2331



30周年 自然歳時記

● サンコウチョウ ● ヒタキ科

美しい声でさえずり、姿も美しい夏鳥。体長は、雄が45㎝、雌が17㎝ほど。長い尾が特徴の雄(写真)はよくさえずる。フライングキャッチで飛んでいる虫を食べる／飯山白山森林公園で見つけた。写真・文／吉田文雄



雑木林から初夏の心地よい風が吹き、もえぎ色の山々を見ていると、不思議に心が落ち着く。

「フィーチーヒーチー」と、どこからともなく美しい声が聞こえてきた。このさえずりを「ツキヒホシ ホイホイホイ」と聞きなして月・日・星で三光鳥と書く。青いくちば

しと目がとても美しく、優雅に飛翔しているようだが意外に素早い。

ゴールデンウィークと愛鳥週間のある5月は、キビタキやクロツグミなどの夏鳥たちが爽やかで美しいコーラスを演奏してくれる季節。野山で鳥たちの声を聞きリフレッシュしたいものだ。

厚木市の人口
(4月1日現在)

世帯数 10万4076世帯 (前月比525世帯増)

人口 22万3815人 (前月比55人増) 男11万5210人・女10万8605人